

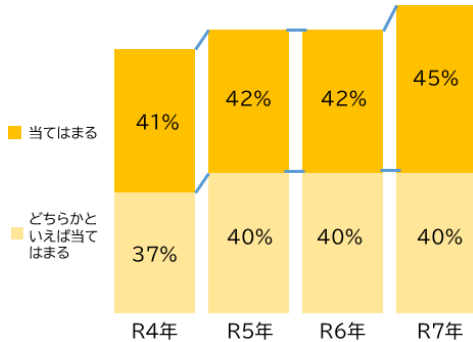
なりたい自分に向かって

ふり返ろう 毎日のじぶん学習

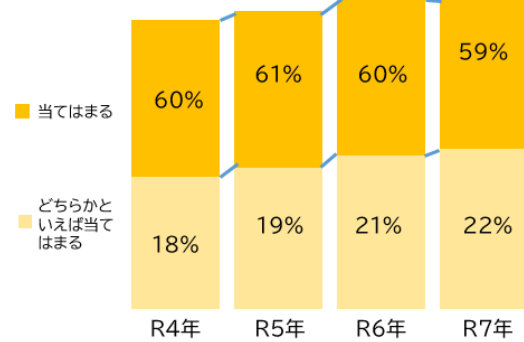
※「じぶん学習」は、神戸市全体で実施している家庭学習の取組です

あなたはどうか？ 自分のこと、見つめてみよう。

自分には よいところがあると思いますか



将来の夢や目標がありますか



全国学力・学習状況調査 神戸市6年生の回答より

好きなこと
いっぱい見つけよう

自分の可能性
もっともっと広げよう

そのために、

全ての学習を **じぶん学習**に！

あなたの学びは「じぶん学習」かな？ 次のページをめくってみよう。

保護者の皆様へ

今の子供たちが生きる未来は、予測困難なほどに社会が変化していく時代だと言われています。神戸市では、子供たちを取り巻く現状や課題、また国や社会の動向等も踏まえ、令和6年4月に今後の教育の羅針盤となる、「**第4期 神戸市教育振興基本計画**」を策定しました。

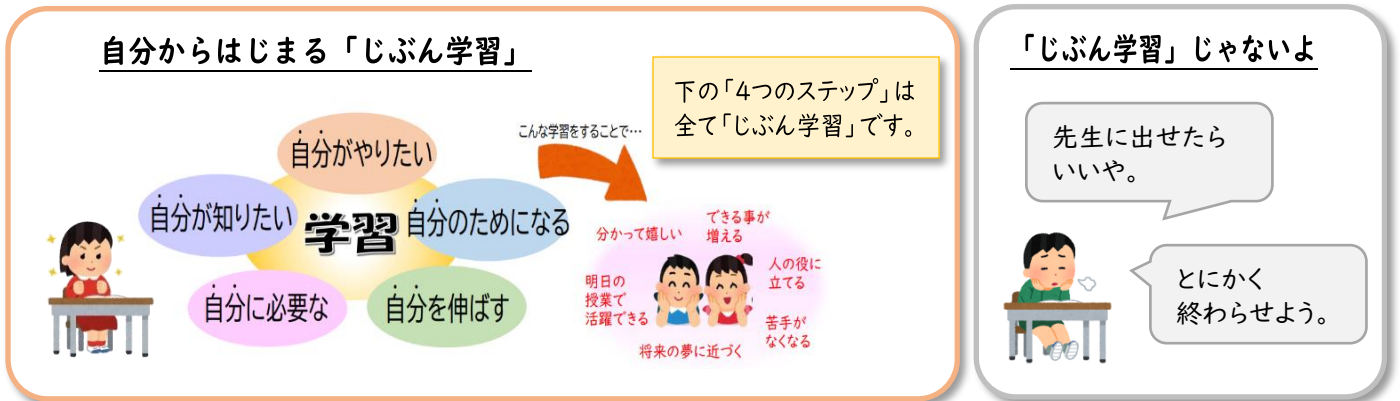
その中には、目指す人間像「**心豊かに たくましく生きる人間**」を育むため、「**自他を大切に 自分で考え 未来をつくる**」という教育ビジョンと、「**人がつながり ともに創る みんなの学校**」という学校づくりの指針が示されています。このような教育を実現するためには、学校と保護者、地域が強く連携し、子供たちの学びを支えていく必要があります。

小学校では、「主体的・対話的で深い学び」をテーマとした**授業改善**と共に**家庭等の学習**も重要であると考え、「**目的意識や学ぶ楽しさを大切に**した**主体的な学習**」(じぶん学習)に取り組んでいます。「自分の力を伸ばしたい」「自分はこれを学びたい」「自分の夢を実現したい」という**子供たちの主体的な思いから学びを充実**させられるよう、保護者の皆様にもお子様への言葉がけや見守りで、ご協力をお願いいたします。

学校、保護者、地域の連携によって実現する充実した学びによって、子供たちがそれぞれの豊かな人生を切り拓き、社会の担い手として、たくましく成長していくことを願っています。

「じぶん学習」とは

目的意識や 学ぶ楽しさ を大切にした 主体的な学習 です。



4つのステップで「じぶん学習」を考えよう

ステップ① いつもの宿題は 何のためにするのか考えよう

その学習をすると どんないいことがあるだろう。楽しんで学習ができるとすてきですね。

これがんばったら、きっと明日の授業がよく分かるな。

うーん。本当にこれで漢字がおぼえられたかなあ。

今日の【めあて】は、「速く計算できるようになること」にしよう。



明日の授業で上手に音読をするぞ!



「それならこうした方がいいな。」と思ったら、**ステップ②**へ。

「他にもやってみみたい事があるよ。」と思ったら、**ステップ④**へ。

ステップ② 自分のために ちょっと工夫して学習しよう

いつもの学習、もっと工夫できないかな。ちょっとプラスで考えてみよう。

【めあて】に近づくために、言葉見つけもしてみようかな。



授業みたいに【ふり返り】をして、いい学習をめざそう。

大事なところに線を引いておこう。



これができたから、デジタルドリルもやってみよう。



「もっと工夫ができそうだ。」と思ったら、**ステップ③**へ。

「もっと色んなことが知りたい。」と思ったら、**ステップ④**へ。

ステップ③ 目的のため、自分に合った学習方法を考えよう

効果の大きい学び方は 人によってちがいます。色々ためして 自分に合った方法を探そう。

【ふり返り】を書いておこう。
「〇〇さんの方法をまねしたら、覚えやすかった。」…っつと。

【計画】を立てよう。
明日は違う方法でやってみようかな。

この学習はパソコンを使った方がいいな。

「他にもチャレンジしたい。」と思ったら、**ステップ④** へ。



自分にはこの方法が合っているかも。

「誰かのために何かしたいな。」と思ったら、**ステップ④** へ。

ステップ④ 目標を立てて 自分で学べる人になろう 「好き」や「得意」を広げて 生かそう

今日の授業で学んだことを、広げよう、深めよう、使ってみよう。

自分がすべき学習を考えて、計画を立てて 取り組めるようになろう。

もっとくわしく調べて、みんなに知らせよう。



授業で解決できなかった問題を解決したいな。

今日の授業、難しかったな。そうだ。教科書の問題をもう一度解き直そう。

1週間の【計画】どおり、がんばれたぞ。



今日習った英語を使って、ALTの先生と楽しく話したい！そのために…。



「提出することが目的になってしまっているな。」や「他のステップの方が自分のためになるな。」と思ったら、先生やお家の人と相談して、**ステップ①～③** へ。

自分の「好き」や「得意」を広げよう。誰かのために できることを考えよう。

大好きな絵、家族にプレゼントしようかな。



係活動で生かせないかな…。

サッカーのこと、友達に教えたいな。



プログラミングでゲームを作ってお楽しみ会を開こう！



自分の力を 生活や社会に生かそう。将来につなげよう。



もっと素敵な自分へ もっと素敵な世界へ

好きなことから、自分の可能性を広げよう。

目標を調整しながら、なりたい自分を目指そう。

あなたの素晴らしい力は、きっと誰かのため、社会のために生きるはず。

「じぶん学習」で、よりよい自分、よりよい世界を 創っていこう。



このページは お家の人に読んでもらおう。

「じぶん学習」3つの目標

- **自分なりの目的や目標を設定して取り組もう。**
 - ◇ 何のために学習するのかを考え、主体的に学習に取り組めるようになろう。
- **自分に合った学び方を見つけよう。**
 - ◇ 自分に合った学習内容や方法・環境を、自分で選択できるようになろう。
- **生活・社会・将来へつながる学習をしよう。**
 - ◇ 学びを自分や誰かのために。生涯を通して学び続ける楽しみを味わえるようになろう。

本校の計画 (柔軟に変更していきます)

低学年…自分のために工夫して学ぶ

中学年…授業での学びを生かし、自分に合った学び方を見つける

高学年…目標を立て、自分に合う学習方法を選び、生活に生かす

全体として…興味や関心のある学びを選び、主体的に取り組む

※ 同じことを続けるだけでなく、今後も子供たちと一緒に 試行錯誤を続けていきます。

じぶん学習に生かそう！

神戸市では、「じぶん学習」を豊かにする 様々な取組が行われています。
お子さんと一緒に 楽しみながら、学びを広げてみませんか。

神戸市のイベントや取組

- ・理科・生活作品展 ・社会科作品展 ・書初展
- ・神戸っ子アートフェスティバル ・読書感想文(画)コンクール
- ・インターナショナルフェスタ ・陸上記録会
- ・こうべっ子チャレンジ!新体カテスト(ALPHA)
- ・デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)でのイベント
などなど



友達はどんな作品を作っているのかな。見に行ってみようか。

神戸市教育委員会からのイベント情報

様々な団体のイベント情報を、「ツムギノ」で受け取ることができます。
アプリをインストールすると、自動的に神戸市教育委員会からイベント情報を受け取ることができますので、ご活用ください。
アプリの詳しい設定については、各校でご確認ください。

このイベントは面白そうだね。参加してみようよ。



子どもの「好き」を伸ばせる
「こべっこポータル」はこちら→



神戸市の各種イベント情報サイト
「おでかけ神戸」はこちら→



低学年(1, 2年生) じぶん学習の手引き

めあて: 学習の楽しさを**知る**

学習時間のめやす 10分~20分程度(10分×学年)

★低学年(1, 2年生)は…

- はじめての学校生活への大変意欲的な時期です。
- 自分なりのこだわりをもって前向きに物事へかかわっていく時期です。
- 様々なことに興味・関心をもち、新たな知識や技能との出会いに素直に感動して、主体的に学んでいきます。



★学習の特徴は…

- 文字に出合い、数に出合い、その便利さを実感し、それらを使えるようにしていく時期です。
- 鉛筆の正しい持ち方、正しい姿勢、よりよい発表の仕方など、基本的な学習習慣を身に付けていきましょう。
- 1人で学習を進めることや、やり方を決めるのは難しいです。



★家庭での支援は…

- 「家に帰ったら、すぐ宿題をする。」「勉強するときは、テレビを消す。」「机の上をきれいに片付ける。」など学習環境を整えて、学習する習慣を身に付けさせてください。
- 宿題や提出物、時間割などは、こまめに確認してください。
- 「いけないことはしない。」と大事な判断は大人が示し、その上で成功も失敗も自分が納得いくよう見守ったり、声をかけたりしてください。
- できるようになったことなどはしっかり称賛し、さらに意欲的な学びへとつなげていきましょう。

★学習の内容は…

国 語



〈音読〉

- 暗記するほど何度も教科書を読み、人前でも大きく元気よく読めるように練習しましょう。

〈文字〉

- ドリル等を活用し、「て・に・を・は」の使い方や低学年で習う240字ほどの漢字をしっかりとマスターしましょう。

〈言葉〉

- ことばあつめや、しりとりなどで語彙力をふやしましょう。

〈読書〉

- 絵本などからはじめ、活字にふれる機会を多くしましょう。ご家庭でもぜひ読み聞かせをお願いします。

算 数



- ドリル学習やタブレットドリル等を通して、たし算、ひき算の意味をしっかりと理解するとともに、それらの計算技能を確実にマスターしましょう。
- 九九は便利な計算方法です。家でも唱え、速く正確に言えるよう、完璧に習得しましょう。
- 計算カード(くり上がり・くり下がり)のたし算とひき算)で練習しましょう。

その他



- 身近な自然や生き物に、五感すべてを使ってふれあう機会を多くもち、豊かな心を育てましょう。
- 外遊び、集団での遊びを一杯して、心身ともにたくましく成長しましょう。
- 学校での様子(学習や友人関係など)を話すことで、話す力を伸ばしましょう。
- 生き物を観察したり、図鑑(NHK for school ものすごい図鑑や〇〇図鑑など)で調べたりして、いろいろなものに興味をもちましょう。
- ものを大切にすることを育てましょう。
- 家でのお手伝いにも取り組んで、生活力を高めましょう。
- 音楽の「指の体操(ゆびくぐりやゆびまたぎ)」をして、鍵盤ハーモニカのじゅんぴ運動もしておきましょう。
- 時計を見て、自分から行動できるようにしましょう。

中学年(3, 4年生) じぶん学習の手引き

めあて:基礎・基本を確実に身に付ける

学習時間のめやす 30分~40分程度(10分×学年)

★中学年(3, 4年生)は…

- 他者意識が急に高まり、周りに対しても気を配ることができ始める時期です。
- 望ましい集団での遊びや学び、友達とのよりよいかかわりを意識して学びを進めていこうとする、確かな成長が見えてきます。



★学習の特徴は…

- 理科・社会科、総合的な学習の時間や外国語活動など、教科等の数が増えてきます。それと同時に、自分で調べてまとめていくような学習や、覚えて活用していくような学習が多くなります。
- 「小学校3年生までに習う漢字を完璧にマスターしていれば、これからの学習に役立つ。」といわれるほど、中学年で学ぶ内容は、基礎的・基本的なもので大切です。



★家庭での支援は…

- 自立した家庭学習へ移行していく時期ですので、低学年の時よりやや距離を置き、その分しっかりと見守ってください。
 - 提出物や時間割など、前もって自分でできるようにさせましょう。
 - テレビゲームやテレビ等は時間を決めてするようにしましょう。
 - 役立つ喜びを実感できるよう、家での手伝い等の役割を分担させてください。
- ※子供たちにはお手本となる学習の例を提示しますので、ご参考ください。

★学習の内容は…

国 語



〈文字〉

- 日記や作文を書くとき、分かりやすい文章が書けるようにしましょう。
- 漢字のドリル学習等を生かし、中学年で習う400字ほどの漢字を、意味も含めて覚えましょう。
- 辞書を活用した学習を心掛けましょう。

〈読書〉

- 興味のあるジャンルの本を進んで読み、事典や図鑑にも親しみましょう。
- 興味のあるジャンルの本を進んで読み、感想を書いたりわかったことをまとめたりしましょう。

算 数



- ドリル学習等を重ね、四則計算の正確さと速さを伸ばしましょう。
- 三角定規・コンパスなどの道具を使って、図形を描いてみましょう。
- 文章問題の意味を、絵や線分図で表し、自分で解いてみましょう。

その他



- 地図を身近に置き、都道府県名やその位置がはっきり言えるようになりましょう。また、テレビのニュースや新聞など興味をもったことについてまとめてみましょう。
- 各教科のノートづくりを参考に、まとめてもよいです。
- ローマ字の読み書きの練習をしましょう。
- 勉強に関係のあることや「おもしろそうだな」と思ったことを図鑑や事典・インターネットなどで調べて、まとめましょう。
- 社会科で勉強する地域社会の文化や産業について調べたり、理科で学習する自然にふれる体験をしたりして、わかったことをまとめましょう。

高学年(5, 6年生) じぶん学習の手引き

めあて: 計画をたて、自ら学習を**進める**

学習時間のめやす 50分~60分程度(10分×学年)

★高学年(5, 6年生)は…

- 自我が目覚め、精神的にも肉体的にも成長していく反面その途中にあって不安定となる時期とも重なります。
- 自尊感情を大切に、自らが意欲を高め、学習に取り組んでいけるような言葉かけ等が大切になります。



★学習の特徴は…

- 小学校でのまとめをする2年間です。この時期になると既習事項や自分の経験・知識、そして様々な情報を上手に活用して問題解決にあたることができるようになります。
- 家庭科という、家庭と直結した生きる力を育む教科や、社会科のなかで、地理・歴史といった日本の風土や文化、そして世界へ目を向けていくような学習も始まります。外国語科も週2時間(年間70時間)に増えます。
- 学習の定着→学習のつながり・広がり→さらなる定着といった過程を経て学んでいきます。



★家庭での支援は…

- 整理・整頓された学習環境を自らがつくり出せるように見守ってください。
- 学習内容や時間のめあてをしっかりとち、主体的に取り組んでいるか見守ってください。
- 地域行事等へ積極的に参加させ、それを学びに生かしていけるよう見守ってください。

★学習の内容は…

国 語



〈音読〉

- 工夫して読むところをノートにまとめましょう。(詩など)

〈文字〉

- 漢字の意味や成り立ちを理解しながら、漢字練習をしましょう。
- 漢字のドリル学習等を生かし、高学年で習う380字ほどの漢字だけでなく、今までに学習した漢字の意味も含めて全て覚えましょう。
- ことわざや故事成語の意味や使い方を調べましょう。

〈読書〉

- 物語を中心に、長編やいろいろなジャンルの本を読み、要約したり紹介文を書いたりしましょう。
- 新聞記事を切り取り自分の考えをまとめましょう。

算 数



- ドリル学習やプリントなどの副教材等を使って復習しましょう。
(宿題や授業中に習ったことなど)
- 算数の問題づくりにもチャレンジしましょう。
- 苦手な内容(割合や四捨五入、文章題など)を、時折復習する時間もとりましょう。
- 生活の中にある、使われている算数を見つけましょう。(量感や概数など)

その他



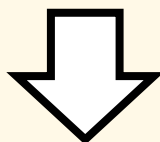
- 国語辞典をはじめ、いろいろな辞典(事典)をどんどん活用しましょう。
- 漢字の意味や使い方を調べたり、短文を考えたりしましょう。
- 社会や理科など、どんどん自分から調べ学習をしていき、知識を身につけましょう。
- 手縫いやミシンでお気に入りの小物を作りましょう。
- インターネットを使って、自分が調べたいことを調べられるような力を身に付けましょう。
⇒インターネットの情報が正しいとは限りません。情報の取捨選択をしましょう。
- 日常生活に見られる英語にふれ、慣れ親しみましょう。



例えば こんな学習 「自分がやりたい」「自分を伸ばす」学習が見つかるかな？

①学校の宿題に取り組む。

学校では、基本的に毎日宿題を出しています。(漢字・計算・音読など)

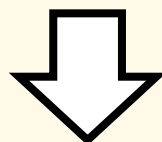


②時間が余ったら、じぶん学習に取り組む。

じぶん学習参考例から選んで、取り組んでも構いません。

【じぶん学習 参考例】

国語	算数	社会・理科・生活科・総合・その他
<ul style="list-style-type: none"> ・漢字練習 ・漢字ドリル ・意味調べ ・日記 ・視写 ・テストのやり直し など 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算練習 ・タブレットドリル ・教科書の問題 ・百ます計算 ・テストのやり直し など 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容や関連した興味のある内容を本やホームページ等の資料などで調べる。 ・授業で学習したことをノートにまとめる。
日常生活での取組	<ul style="list-style-type: none"> ・読書をしましょう。 ・国語辞典、漢字辞典、その他図鑑を身近に置いて調べましょう。 ・日本地図、世界地図、地球儀を身近に置いて調べましょう。 ・小学生新聞など、新聞に目を通してみましょう。 ・ニュース番組を親子で見えて話し合みましょう。 ・自然や生き物とふれあい、観察してみましょう。 ・詩歌の暗唱をしましょう。 ・余裕があれば、市販のドリルや問題集にも取り組んでみましょう。 ・将棋や囲碁、百人一首など頭を使うことをしましょう。 ・家の仕事を進んでやりましょう。 	



③学習が終わったら、次の日の準備をする。

鉛筆をけずり、持ち物を確認し、準備を整えましょう。



何をしようか、まよったら？

● になりたい自分に向かって、苦手を無くそう 得意をのばそう

教科書を読む

ノートまとめ

上達するための練習

色々な教科
で考えよう

タブレットドリル

問題集やドリル

明日の予習

● 授業で学習したことを、広げたり 深めたり しよう

まず、今日の授業でどんなことを学習したか思い出そう。



授業の学習を…

実際に使ってみる 生活の中でつながりを探す
家で楽しむ 誰かに説明してみる さらに調べる
もっといいものを作る 疑問を解決する などなど

この下は お家の人に読んでもらおう



保護者の支えや見守りが 子供の力を伸ばします

● 約束ごとを決め、環境を整える。

約束を守って
楽しもうね。



- ◆ TV やゲーム、スマホ等は時間を決めて
- ◆ 学習中は TV や音楽を消し、スマホ等をさわらない（できれば保護者も）

● 一緒に学習する。見守る。確認して声をかける。



へえ～！
おもしろいね。

- ◆ 子供の学習を大人が楽しむ
- ◆ 大人の関心が 子供の励みに

● がんばりや工夫を認める。

- ◆ 粘り強さ、自分で考える力を伸ばす



自分で やる内容を
考えたんだね！

どう違う？ 「頭がいいね」 より 「頑張ったんだね」

「頭がいいね」…成功したのは、もともとの才能で頭がいいから。つまり、失敗する事は自分に才能が無い事を証明してしまう。→「失敗は怖い。新しい挑戦はしたくない…。」

「頑張ったんだね」…成功は、たくさん努力や工夫をしたから。つまり、失敗しても努力や工夫次第で成功できる。→「失敗しても大丈夫。新しい挑戦をしてみよう！」

能力は「変わらないもの」か「自分次第で変えられるもの」か。考え方の違いで その人の生き方が大きく変わるという研究結果があります。

「才能」ではなく「努力や工夫」を大切にする関わりで、失敗に負けない、前向きな心が育ちます。

キャロル・S・ドゥエック 「マインドセット『やればできる!』の研究」より